



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 Aiロボティクス株式会社
コード番号 247A URL <https://ai-robotics.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 龍川 誠
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 坂元 優太 TEL 03-6809-0142
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	11,075	—	△531	—	△737	—	△495	—	△7.63	—
2026年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 △494百万円 (—%) 2026年3月期第1四半期 —百万円 (—%)

	調整後EBITDA		調整後 親会社株主に 帰属する 四半期純利益		調整後1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後の 調整後1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	113	—	109	—	1.68	1.67
2026年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は、2027年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2027年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 調整後EBITDAは、営業利益に減価償却費等、M&Aに伴うのれん等償却費及びM&A関連費用を足し戻して算出しております。
3. 調整後親会社株主に帰属する四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益にM&Aに伴うのれん等償却費及びM&A関連費用を足し戻して算出しております。
4. M&A関連費用＝ファイナンスアドバイザリ－費用＋デューデューリジェンス費用
5. 調整後1株当たり四半期純利益は、調整後親会社株主に帰属する四半期純利益を、期中平均株式数で除して算出しております。
6. 潜在株式調整後の調整後1株当たり四半期純利益は、調整後親会社株主に帰属する四半期純利益を、潜在株式の権利行使による希薄化を反映した株式数で除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	48,184	5,601	11.6
2026年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 5,600百万円 2026年3月期 —百万円

(注) 当社は、2027年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		調整後EBITDA		調整後当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	56,000	—	7,500	—	9,500	—	5,900	—
	～60,000	—	～10,000	—	～12,000	—	～7,400	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2027年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率に

については記載しておりません。

3. 当社は、2026年4月1日付で株式会社B J Cの全株式を取得し完全子会社としました。これに伴い当連結会計年度については、当該M&Aに係る一時的な費用の影響や、のれん等償却費の影響を調整した各調整指標について業績予想値を公表することとしました。

- ・ 営業利益＝仮にM&Aに伴うのれん等償却費を1,500百万円としたときの暫定的な数値
- ・ 調整後EBITDA＝営業利益＋減価償却費等＋M&Aに伴うのれん等償却費＋M&A関連費用
- ・ 調整後当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋M&Aに伴うのれん等償却費＋M&A関連費用
- ・ M&A関連費用＝ファイナンシャルアドバイザー費用＋デューディリジェンス費用

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 (社名) 株式会社B J C、株式会社CHARIS & Co.、株式会社BEEK及びCHARIS Korea Corporation.

除外 1社 (社名) -

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	64,999,000株	2026年3月期	64,900,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	124株	2026年3月期	124株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	64,948,887株	2026年3月期1Q	58,389,950株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	7
(追加情報の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、2027年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、賃上げによる所得環境の改善が見られる一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや、円安の長期化に伴う物価上昇により、実質賃金は伸び悩んでいる状況であります。この状況により、国内消費者マインドは弱含んでおりますが、ドラッグストアやバラエティショップ等におけるインバウンド需要については、引き続き高い水準で底堅く推移しております。

このような環境下、当社は当第1四半期連結会計期間において、主力のスキンケアブランドである「Yunth」において、人気商品である美容液シリーズのラインナップに、注目成分PDRNを配合した“生PDRN美容液”を追加したほか、美容液シリーズの成分を配合したフェイスマスクを新発売しております。フェイスマスクについては、発売早々にドラッグストアや、オンラインサイトで販売ランキング上位に入るヒット商品となっております。

美容家電ブランドの「Brighte」については、引き続き家電量販での販売を強化しております。オンライン販売では、Qoo10、楽天で“ELEKI LIFT”がランキング上位を維持しております。

ヘアケアブランドの「Straine」では“BASIC”と“SOFT”の2ラインを追加展開し、消費者それぞれの髪質に合わせて選択できるようにいたしました。より一層ヘアケアの悩みに深く寄り添うブランドとして成長を重ねております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,075,819千円、営業損失は531,403千円、経常損失は737,672千円、親会社株主に帰属する四半期純損失は495,839千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は48,184,372千円となりました。主な内訳は、現金及び預金7,287,358千円、売掛金5,175,875千円、商品及び貯蔵品9,728,351千円、のれん21,273,546千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は42,583,275千円となりました。主な内訳は、未払金2,492,895千円、有利子負債38,823,710千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,601,096千円となりました。主な内訳は、利益剰余金3,840,805千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。今後、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,287,358
売掛金	5,175,875
貸倒引当金	△2,813
売掛金（純額）	5,173,061
商品	8,875,824
貯蔵品	852,526
未収還付法人税等	329,658
その他	2,737,604
流動資産合計	25,256,034
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	648,589
減価償却累計額及び減損損失累計額	△159,435
建物及び構築物（純額）	489,153
工具、器具及び備品	290,873
減価償却累計額及び減損損失累計額	△129,647
工具、器具及び備品（純額）	161,225
車両運搬具	11,999
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,779
車両運搬具（純額）	8,219
一括償却資産	12,553
土地	59,600
リース資産	37,539
減価償却累計額及び減損損失累計額	△19,747
リース資産（純額）	17,792
その他	483
有形固定資産合計	749,027
無形固定資産	
のれん	21,273,546
その他	65,792
無形固定資産合計	21,339,338
投資その他の資産	
差入保証金	247,557
繰延税金資産	553,190
その他	36,257
投資その他の資産合計	837,006
固定資産合計	22,925,372
繰延資産	
社債発行費	2,965
繰延資産合計	2,965
資産合計	48,184,372

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(2026年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	911,331
短期借入金	34,577,058
1年内償還予定の社債	280,000
1年内返済予定の長期借入金	941,859
未払金	2,492,895
リース債務	7,704
契約負債	6,536
賞与引当金	19,382
ポイント引当金	510
訴訟損失引当金	8,099
その他	301,161
流動負債合計	39,546,539
固定負債	
長期借入金	3,024,793
リース債務	11,943
固定負債合計	3,036,736
負債合計	42,583,275
純資産の部	
株主資本	
資本金	880,364
資本剰余金	877,364
利益剰余金	3,840,805
自己株式	△150
株主資本合計	5,598,383
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△459
繰延ヘッジ損益	2,225
その他の包括利益累計額合計	1,766
新株予約権	946
純資産合計	5,601,096
負債純資産合計	48,184,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)
売上高	11,075,819
売上原価	4,084,261
売上総利益	6,991,557
販売費及び一般管理費	7,522,961
営業損失(△)	△531,403
営業外収益	
受取利息	158
雑収入	198
営業外収益合計	357
営業外費用	
支払利息	171,557
融資手数料	24,836
その他	10,231
営業外費用合計	206,626
経常損失(△)	△737,672
特別利益	
固定資産売却益	29
特別利益合計	29
特別損失	
固定資産除却損	3,522
特別損失合計	3,522
税金等調整前四半期純損失(△)	△741,165
法人税等合計	△245,325
四半期純損失(△)	△495,839
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△495,839

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自2026年4月1日 至2026年6月30日)	
四半期純損失(△)	△495,839
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△459
繰延ヘッジ損益	2,225
その他の包括利益合計	1,766
四半期包括利益	△494,073
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△494,073

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社B J Cの全株式を取得したため、株式会社B J C及びその子会社である株式会社CHARIS&C o.、株式会社BEEK、CHARIS Korea Corporation. を連結の範囲に含めております。

(追加情報の注記)

(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりであります。

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 4社

連結子会社の名称 株式会社B J C

株式会社CHARIS&C o.

株式会社BEEK

CHARIS Korea Corporation.

2. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の決算日が連結決算日と異なる会社は次のとおりであります。

会社名	決算日	
株式会社B J C	10月31日	※
株式会社CHARIS&C o.	10月31日	※
株式会社BEEK	10月31日	※
CHARIS Korea Corporation.	12月31日	※

※ 四半期連結財務諸表の作成に当たっては、6月30日で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ブランド事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より、D2Cブランド事業としておりましたセグメント名称を、株式会社BJC、株式会社CHARIS&C o.、株式会社BEEK及びCHARIS Korea Corporation. を連結に含めたことに伴い、ブランド事業に変更いたしました。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用等に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	45,886千円
のれんの償却額	360,568